

大工道具の歴史

第3章 ～鑿～

—美しい継手仕口のために木を刻み穴を掘る—

2018年10月23日(火) ▶ 12月2日(日)



●この特別企画展について

日本の建築を支えてきた大工道具の歴史を2016年から毎年1品目ずつご紹介しています。

第3章となる今年のテーマは「鑿」です。

ある時は力強く叩き、又ある時は繊細な加工により、美しい彫刻や計算された継手を生み出すこの道具の歴史に是非触れてみてください。

●特別講演 「三木金物の鑿について」

講演者 播州三木打刃物伝統工芸士会

会長 岩崎永祐氏 (岩崎のみ製作所)

日時 11月11日(日) 13:30～14:30

場所 みき歴史資料館3階講座室

定員 先着80名(無料、申込不要)



●限定企画 「ミニ下駄作り」

鑿を使って簡単にかわいいミニ下駄を作ろう

日時 11月11日(日) 13:00～16:00

18日(日) 10:30～16:00

場所 三木市立金物資料館内

定員 各日先着20名(無料、申込不要)



三木市立金物資料館

MIKI CITY HARDWARE MUSEUM

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸5番43号

●開館時間 10:00～17:00

●休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

●入館料 無料

●アクセス 神戸電鉄「三木上の丸駅」徒歩5分 神姫バス「上の丸」徒歩5分